

超高齢社会における障害者と家族

2017年12月8日
東京都庁第一本庁舎

東洋大学ライフデザイン学部
白石弘巳

本日のお話

- 1) はじめに
- 2) 超高齢化時代の日本の現状
- 3) 障害をもつ人と家族の実情
- 4) 障害をもつ人の支援の在り方
- 5) おわりに: 「ゆったりとつながり、負けないで生きていける社会を」

はじめに

超高齢社会とは

- 総人口に対して65歳以上の高齢者人口が占める割合を高齢化率という。高齢化率が同21%を超える社会を超高齢社会という。
- 日本は、1970年に高齢化率7%超の「高齢化社会」、1994年に同14%超の「高齢社会」となり、2016年には同**26.7%の「超高齢社会」**となっている。

あるご家族からのお手紙

- (前略)顧みますと〇年あまり、先生には(中略)ご指導いただき感謝申し上げます。(中略)私たち夫婦は、老々介護の日々の生活で老いることの大変さをつくづく感じ、我が身のことさえおぼつかない状態になり、今年で家族会をやめることにしました。(中略)先生には一言御礼を申し上げますたく、… (一部改変)

→この方は、お手紙をくださってからしばらくして亡くなられたとうかがいました。

ある患者さんからの手紙

(前略)母が昨年暮れに亡くなりました。(中略)
与えられた命を大切にして頑張っていきますと
母が亡くなるときに伝えました。生きていること、
頑張っていることが母が一番喜んでくれて、母
の一番の供養になるのだと思っています。

(後略)

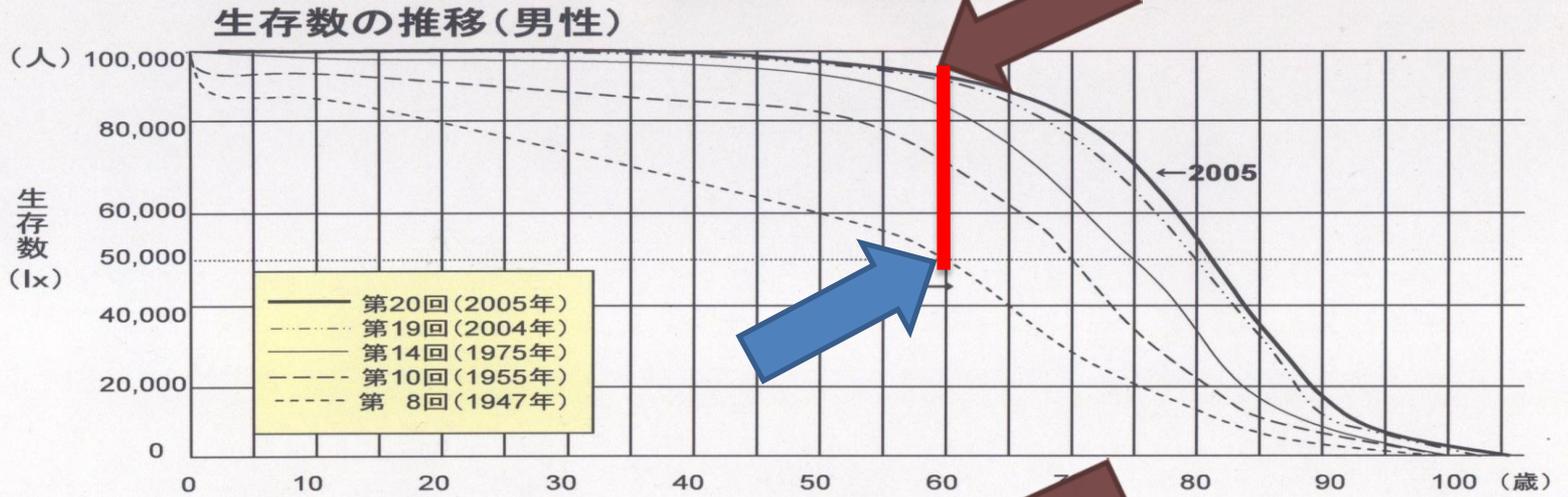
(一部改変)

→この方は、現在精神科病院に入院されて
います。

超高齢社会の日本の現状

平均寿命の経年変化

男性



女性

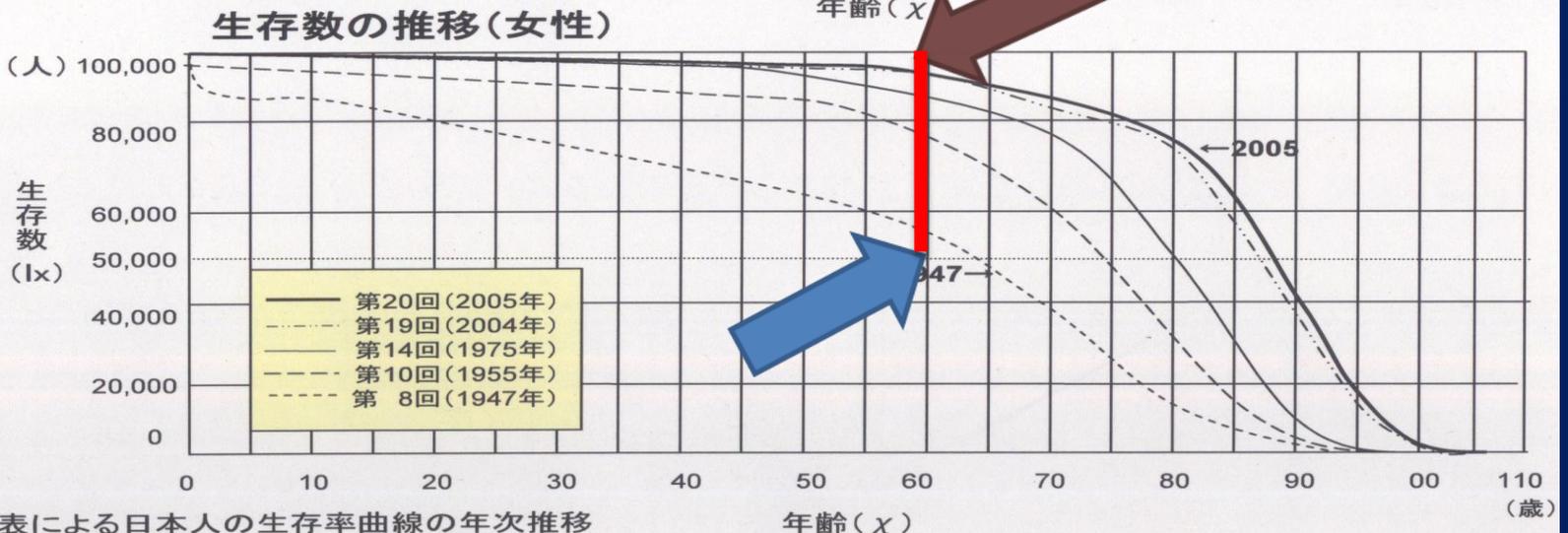
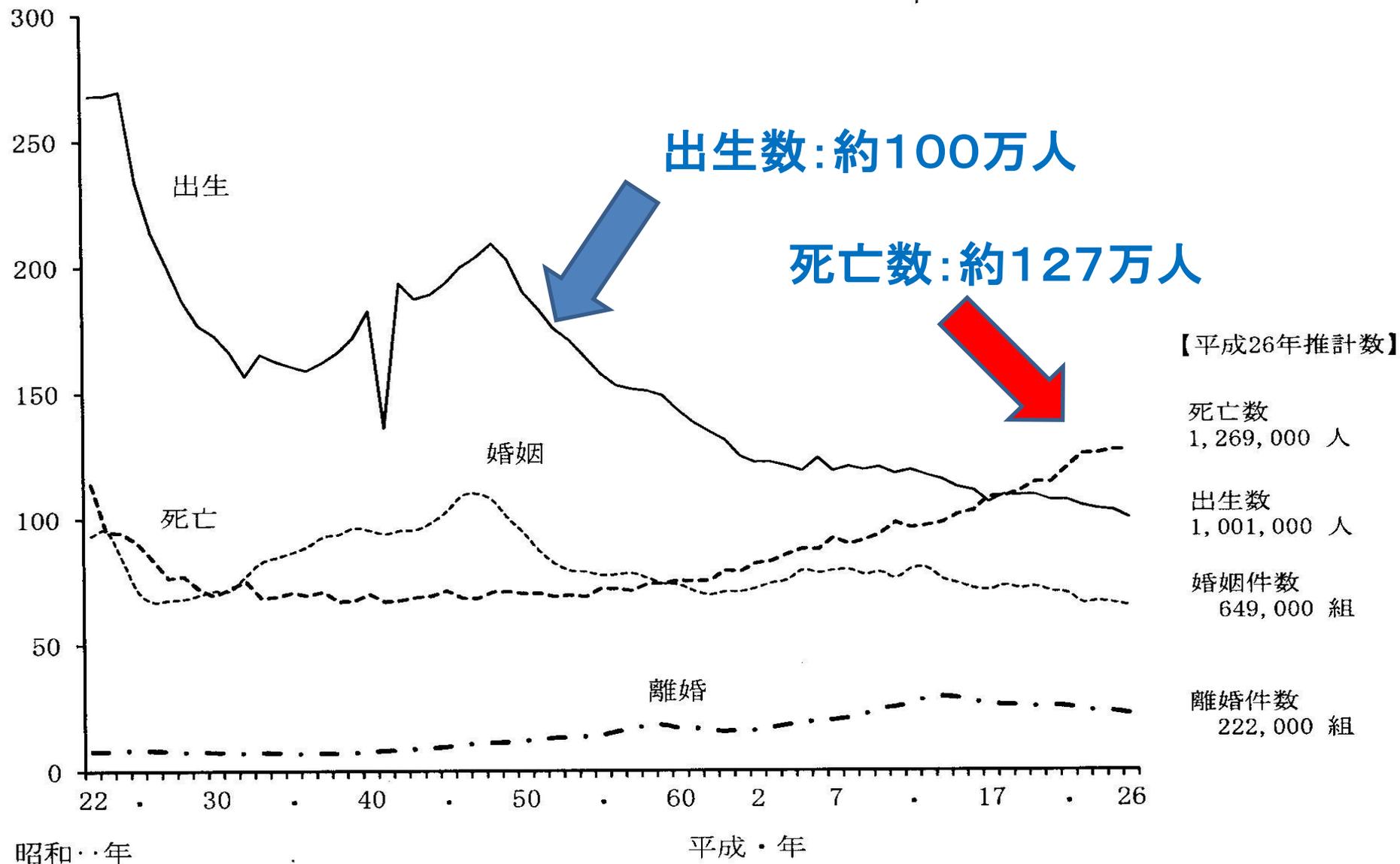


図2 生命表による日本人の生存率曲線の年次推移
(厚生労働省ホームページより引用)

少子化に伴う出生数と死亡数の逆転

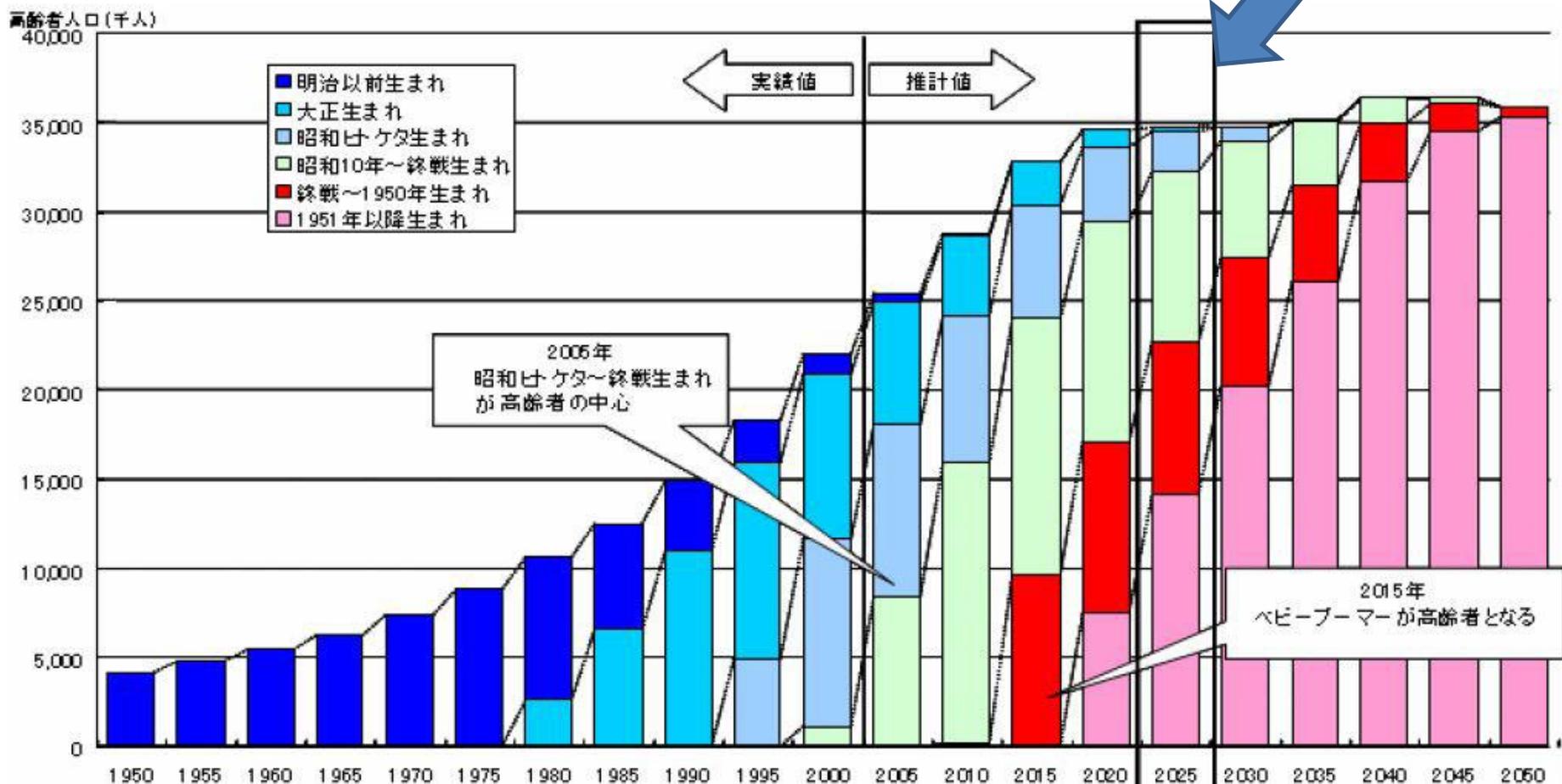


今後の日本の人口予測

(合計特殊出生率が1.35の場合)

	2010年	2040年	2060年	2090年	2110年
総人口	12,806 万人	10,728 万人	8,674 万人	5,727 万人	4,286 万人
老年人口 (65歳以上)	2,948 万人	3,868 万人	3,464 万人	2,357 万人	1,770 万人
高齢化率	23.0%	36.1%	39.9%	41.2%	41.3%
生産年齢人口 (15~64歳)	8,174 万人	5,787 万人	4,418 万人	2,854 万人	2,126 万人
年少人口 (~14歳)	1,684 万人	1,073 万人	791 万人	516 万人	391 万人

図1 世代別に見た高齢者人口の推移



資料:2000年までは総務省統計局「国勢調査」、2005年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成14年1月推計)」

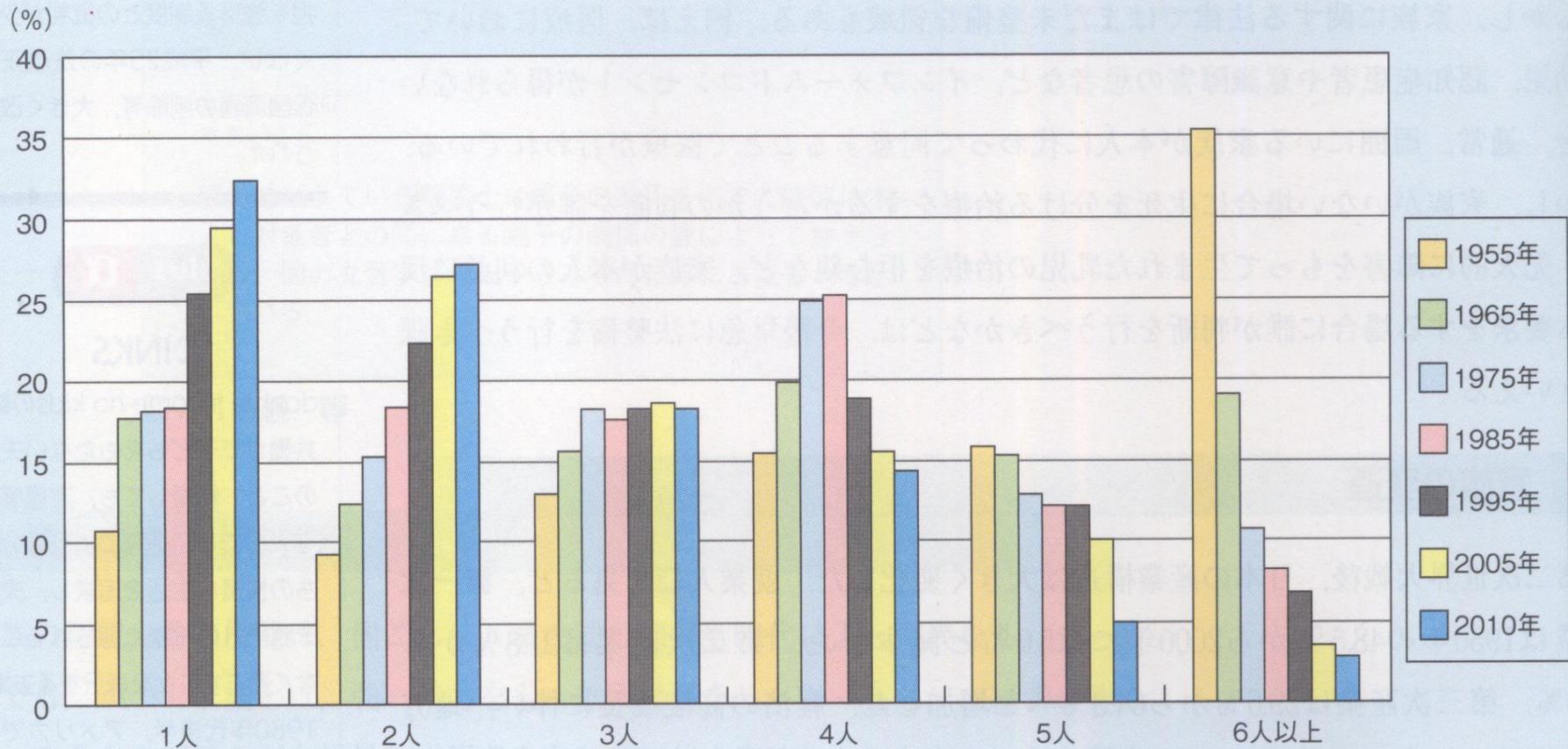
2025年問題

「2025年問題」とは、団塊の世代が2025年頃までに後期高齢者（75歳以上）に達する事により、介護・医療費等社会保障費の急増が懸念される問題です。

平成27年（2015年）に「ベビーブーム世代」が前期高齢者（65～74歳）に到達し、10年後の平成37年（2025年）高齢者人口は、約3,500万人（人口比約30%）に達すると推計されています。

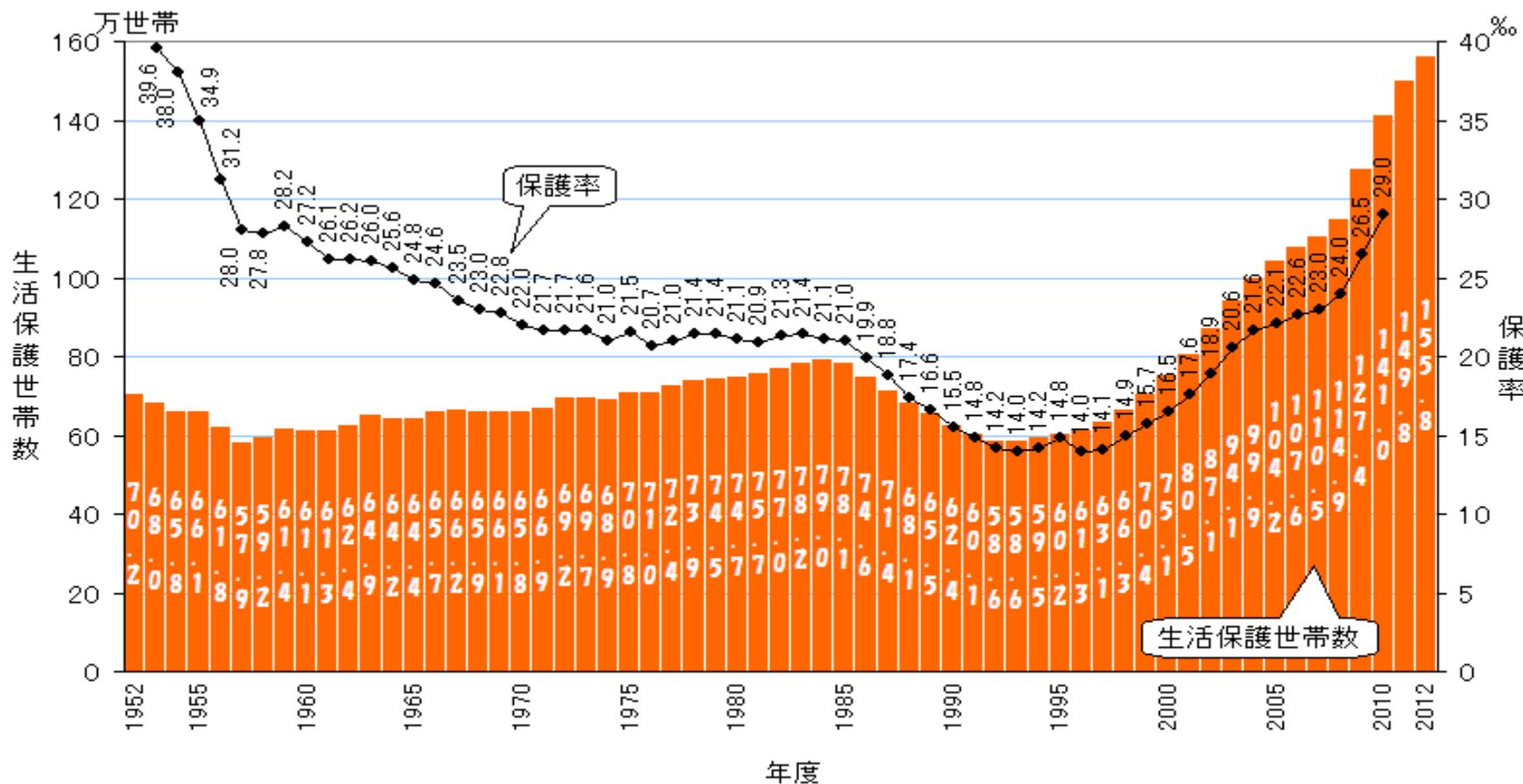
（平成18年厚生労働省・委員会報告書より抜粋）

世帯構成員の数の推移



総務省統計局「国勢調査」.

生活保護世帯の増加



(注) 年度の1か月平均。保護率は社会保障・人口問題研究所「生活保護」公的統計データ一覧」。2012年度は概数。

(資料) 厚生労働省「被保護者調査」(前「社会福祉行政業務報告(福祉行政報告例)」)

支援する側の課題

- 地域コミュニティの基盤が弱体化。
マンションなど人付き合いの乏しさ
東京のある区の町内会長の平均年齢は
70歳以上、会員も減少
- 人口が減少に転じ、人手不足が深刻に。
介護職は100万人不足する時代へ
- 莫大な財政赤字の上に、さらに増え続ける
社会保障費
国の借金1000兆円 社会保障費150兆円へ